

警察署協議会会議録

早良警察署協議会

開催年月日時	平成30年10月4日 午後4時00分 から 平成30年10月4日 午後5時35分 まで	
開催場所	早良警察署 4階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下11名
	公安委員会	1名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、 地域管理官、刑事管理官、交通第一課長、警備課長 総務第一課長、総務第二課長、被害者支援係長
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 管内の事件事故等の状況は、全体的に発生件数が徐々に減少し、数字的に見ると治安が良くなっていると考えている。 ○ 最近の豪雨や台風による突然の災害発生に対して、警察としての対策を確実に実行していただいていることに対してお礼を申し上げたい。 ○ 今後、より一層地域全体で安全・安心な街のために努力することが大事であると考えており、皆様の御協力をお願いしたい。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 管内の治安情勢については、昨年に引き続き、今年も治安の目安となる刑法犯の認知件数及び人身交通事故の発生件数は共に減少している。 ○ 強盗などの重要凶悪事件、暴力団の絡んだ事案、オレオレ詐欺などの特殊詐欺、強制わいせつなどの性犯罪、高齢者の交通事故や飲酒運転事故が高止まりの状態であり、取り組む課題が残されている現状にある。 ○ 年末にかけて、事件事故等が例年増加する傾向にあるため、当署としても諸対策の取組を進めていくこととしており、皆様の御支援をお願いしたい。 【報告事項】 1 通学路等における子どもの安全確保のための諸対策の推進（生活安全管理官）		

議 事 概 要

- (1) 登下校防犯プランの概要
 - ア 登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務
- (2) 当署における登下校対策について
 - ア 通学路の緊急合同点検の推進
 - イ 地域における連携の場の構築
 - ウ 不審者情報等の共有、見守りの活性化対策等
- 2 違法民泊対策について（生活安全管理官）
 - (1) 民泊の種類～住宅宿泊事業法、旅館業法
 - (2) 警察の実態把握の必要性等
- 3 管内の主な事件検挙等について（刑事管理官）
 - (1) 特殊詐欺の発生状況
 - (2) 特異盗犯（連続忍び込み）の被疑者の検挙
 - (3) 暴力団情勢
- 4 管内の交通事故情勢等について（交通第一課長）
 - (1) 交通事故発生状況（平成30年1～8月）
 - (2) 交通事故の特徴的傾向
 - (3) 飲酒運転事故発生状況
- 5 災害対策について（警備課長）
 - (1) 激甚災害の発生件数等
 - (2) 災害発生時の警察の対応
- 6 巡回連絡について（地域管理官）
 - (1) 巡回連絡の活動
 - (2) 巡回連絡競技会優勝者による見本演技の実施

【質疑応答】

- 委員から、「連続盗難の被害エリアは偏っているのか。」旨の質疑があり、刑事管理官から、「地区全体の発生であり、集中発生している地区もあるということである。なお一連の犯人は検挙され現在の発生はない。」旨の回答があった。
- 委員から、「峠道路を車両通行の際に側方樹木が道路に張出し、車両の通行妨害となっている場合の対応をお願いしたい。」旨の質疑があり、交通第一課長から、「現場を確認し交通妨害となっているようであれば関係部署に連絡確認し、剪定等の手配をする。」旨の回答があった。
- 委員から、「民泊の件で実際に標識掲示等がないなど不審な現状があれば、警

議 事 概 要

察に通報してよいか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「直接、当署生活安全課に一報いただきたい。」旨の回答があった。

- 委員から、「民泊の把握及び警察への通報について、地元をよく知る各校区の代表者からなる自治協議会等において周知してもらってはどうか。」旨の意見があり、生活安全管理官から、「今後、各地区の会合等の防犯講話の中で、民泊発見時等の通報体制の説明等を検討したい。」旨の回答があった。
- 委員から、「西新地区における夜間帯のキャッチセールス、呼込み等が若干増加傾向であると思われるが対策はないのか。」旨の質疑があり、生活安全管理官から、「以前にも通報により客引き対策を実施したが、再度出沒があるのであれば、実態を把握した上で対処方策を考えたい。」旨の回答があった。
- 委員から、「別府、鳥飼付近でコンビニ等において女子大生の容姿の盗撮や声かけ事案が発生しており、付近の治安対策の検討をお願いしたい。」旨の要望があった。

【公安委員講評】

- 報告事項や質疑応答を聞き、早良署管内の住民の皆様が安全で安心して生活できるまちづくりのために一体となって努力されている。
- 登下校時における子ども達の安全確保の問題について、危険箇所の把握、地域における連携の構築及び不審者情報の共有の3点の報告があったが、学校、警察と住民が三位一体となって、登下校対策を完成させてほしい。